

新聞表五三三号

四月四日

上海四月三日森陸軍省着電

第十九路軍第十九路軍と第五軍との間には次亦に深
と第五軍積案を生じ対り關係あるに依り僅に内
との内証輸喧嘩が拡大し去いたけで
松火 其の状況左の如し

一、第十九路軍が國民より贊成を受けた密
附金は五百萬元に達してあるが、第五軍
五軍特に第四十七師は之が分配を強
要せり、第十九路軍は南京廣東よ
り軍費の支給を以て理由とし断然
之を拒絶したため、両軍の感情は悪化
しを来た

二、第五軍の第四十七、四十八師等は蔣外
右に對し第十九路軍の武装解除を
要求しをあるが蔣外右は未だ許可
せぬらしい

三、最近蔣外右の態度に憤慨した蔣
廷楷は及蔣運動を能く遂行
する腹を決めた旨を側近の者に公言
しをある

四、蔣介石は第十九路軍を滬寧線以南に移駐せしめ、其の撤退完了せば、第四十七師を甚處に駐留せしむべく、既に命令を發したが、同軍の行動は様々とし、あかつた第四十七師は、此の水を切らし、第十九路軍に對し、太倉附近より遠に撤退し、同地を明渡すことを要求した所、同軍は拒絶せし。三月三十日夜より、兩軍兵火を交へたが、四月十日夕、稍々平靜にあつた。